

大斎節第四主日礼拝

《主日朝礼拝式次第》

【入祭の部】

前奏(黙祷)
「なぜ嘆き悲しむのか」
J.G.ヴァルター作曲

あいさつ
讃美歌 21/304 番
開会の祈り
交読詩篇 詩編135篇1~6節

【第一部 み言葉の礼拝】

聖書
✦イザヤ50章4~9節
✦ヨハネによる福音書19章1~16節
(旧約P.1145、新約P.206)
応答唱 讃美歌21/32番
教話 井上隆晶牧師
『見よ、この男だ』

使徒信条

【第二部 聖餐礼拝】

奉献 讃美歌21/72番
教会の祈り(連祷)
平和の挨拶
讃栄 讃美歌21/83番
主のいのり
陪餐

【応答と派遣と祝福】

讃美歌 21/311番
感謝の献物
栄光の讃美 讃美歌21/24番
派遣の言葉
祝福の祈り 井上隆晶牧師
後奏(黙祷)
「茨の冠を主にかぶせて」
(讃美歌21の304番)
志村拓生作曲

【本日の礼拝奉仕者】

司式補佐 井上万里子
奏楽 飯田雅子
献金当番 畑耕太郎
受付当番 寺田律子

【本日の予定】

◇教会学校(朝9時30分)
・お話し:小坪英恵
◇讃美歌練習(礼拝後)
◇合同祈禱会(礼拝後)

【今週の教会での集会のご案内】

◇朝の祈禱会
・受難節の祈禱予定表をご覧ください。

【次週主日3月22日のご案内】

◇教会学校礼拝(午前9時30分)
・お話し:小坪英恵
◇主日朝礼拝(午前10時30分)
・聖書
✦詩篇22篇13~22節
✦ルカ23章32~43節
・教話 井上隆晶牧師
『樂園に入った強盗』
・讃美歌21 312、32、301
・交読詩篇 詩編88:14~19
・司式補佐 勝見 仁
・奏楽 鹿野幸枝
・献金当番 黒澤 巖
・受付当番 井上万里子
◇讃美歌練習(礼拝後)
◇合同祈禱会(礼拝後)

聖句

「イエスは茨の冠をかぶり、紫の服を着けて出て来られた。ピリトは『見よ、この男だ』と言った。」

(ヨハネ19:5)

【諸報告・個人消息】

- ①《今週の井上牧師の予定》:17日(火)午後10時「心の病の勉強会」
- ②《3月~4月の教会行事予定》
 - 3月17日(火)午前10時「心の病の勉強会」
 - 3月22日(日)午後3時「カルト対策委員会講演会」(大阪福島教会にて)
 - 3月29日(日)「棕櫚の主日」
 - 4月3日(金)午後6時「受難日の主の葬りの式」
 - 4月5日(日)午前10時30分「復活大祭」、礼拝後町内を「十字架行進」、その後「愛餐会」(食事は各自持ち寄りです)
 - 4月8日(水)午後2時「大阪YWCA 聖書を学ぶ会」
 - 4月12日(日)午後1時「定例役員会」
 - 4月26日(日)午後1時「2025年度教会総会」
- ③【先週の集会統計】

日	集会	男	女	大人	計	礼拝献金
8	CS礼拝	—	1	5	6	¥1,950
	集会	男	女	子ども	計	礼拝献金
8	朝の礼拝	6	13	4	23	¥12,650
9	朝の祈り	2	1	—	3	
10	朝の祈り	1	3	—	4	
11	朝の祈り	2	4	—	6	
12	朝の祈り	3	4	—	7	
13	朝の祈り	2	1	—	3	

④【3/8の献金報告】

[月定] 澤田昌人、澤田真弓、鹿野幸枝(計30,000円) [感謝] 中村恵子、寺田明日香(計5,200円) [建築] 澤田昌人、澤田真弓(計15,000円) [互助] 小淵公子、小淵賀裕、澤田昌人、澤田真弓、鹿野幸枝(計5,000円)



【週報表紙の続き】

「するののか」といいましたが、本当に愛の無駄遣いをされたのはキリストの方です。ユダも100%の愛で愛されたのです。足を洗われ、聖餐をいただいたのに、それでもユダは気がつかず、満足できませんでした。大事なことは、この大きな神の愛に気がつくということではないのでしょうか。ここを読んで感じたことは、二種類のキリスト教徒がいるということです。自分のことだけを考えているユダと、キリストのことを考えているマリアがいます。自分の願いを求めているユダと、神の願いを求めているマリアがいます。キリストのことを何も知らないユダと、キリストのことを知っているマリアがいます。先週、4世紀のクレタのアンデレの大カノンという祈禱書を読みました。

「罪はわたしから、神が先に織ってくださった神の似姿という衣を剥ぎ、死という皮の衣を縫いました。」
「わたしは様々な欲望の苦しみと物体の崩壊に従いました。ゆえに今敵はわたしを責めます。」
この世の人は、罪というのは人に向かって犯すものだと思っています。しかし本当は神に向かって犯すものなのです。その結果として隣人に対しての関係が破壊されるのです。すべての人は神に向かって罪を犯したのです。だから私たちは崩壊と病と死に支配されるようになったのです。これは異常な状態です。それなのに、死は当たり前であるかのように生きており、異常な状態のまま、ユダのようにこの世を追い求めています。私たちの罪とは、神が創造された良いものを破壊したということです。自分を破壊し、他者を破壊し、この世を破壊していることです。だからこそ罪を認めて神に帰り、失った美しいものを取り戻す治療を始めなければならないのです。マリアは清い香油を奉げました。それは彼女の清い生涯を奉げたことを象徴しています。私たちも清い心と行いをキリストに捧げたいと思います。